

臥竜塾セミナー2019②

21 世紀型保育のススメ

今回のテーマ「異年齢児保育」

第118号 2019年6月3日発行

ミマモルジュ挨拶

ホテルに宿泊客の様々な相談や
ご要望に応えるコンシェルジュがいる
ように、保育においても様々な
ご要望や悩みがあると思います。

「見守る」+「コンシェルジュ」=
ミマモルジュとして、保育に関する
ご要望にお応えしていけるよう
活動していきます。

株式会社カグヤ 奥山卓矢

「異年齢児保育」という呼称をやめたい

臥竜塾年間講座 第2回目の今回は「異年齢児保育」についてを
テーマに講座が行われました。

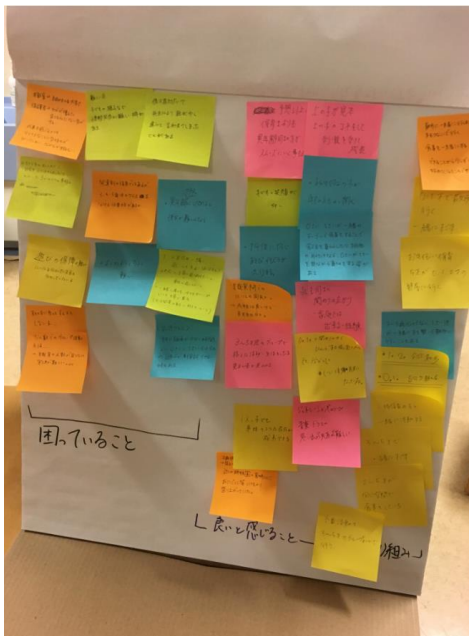
今回も前回の講座同様に前半は座学で「異年齢児保育」について学び、
後半はグループに分かれ、グループディスカッションを行いました。
テキストでは、p22～24 が今回学んでいった参照範囲です。

新宿せいが子ども園の森口先生は講座の中で、「異年齢児保育は、
縦割りのイメージを持たれ、発達が違う子同士を一緒にするのはよくない
と言われることがあります。でも、異年齢児保育の基本は、子どもの発達
を保障するために行っていることであるため、「異年齢児保育」という呼び
名を変え、『目的や課題に応じて構成する保育』』としたいと仰っていました。

また、「発達を保障することが大事であるため、異年齢で過ごすことが
目的ではなく、課題に応じて保育をすることもそうですが、結果として
異年齢になるだけで、発達に合わせて保育をすると、同じ発達の子たちが
集団を作り、結果として異年齢になります。年齢別になることだってあり
ます。ただ、学年別でも目的や課題に応じた保育が出来なくななく、
ただ、大人の人数や選択肢に限界があるのではないかと思います。テキ
スト（たてわりではない異年齢児保育）にこうあります。

「年齢別保育をするときより、3歳児以上の集団にすることによって
職員は3倍のコーナーを観ることが出来るようになります。また、





●過去のバックナンバー

第115号

むかしの田んぼ__田植え

第116号

季節の行事__水口祭り

第117号

方舟の飛沫をあげて

<http://www.caguya.co.jp/topics/news/p9889/>

給食や お昼寝など一斉に同じことをさせるときにも、個々のペースで習熟度をきちんと把握してみてあげることが出来ます。」とあります。

引用：たてわりではない異年齢児保育 藤森平司著 世界文化社 p23 より

●年度別に至っている時代背景

明治となり、西洋に追いつけ追い越せと、子どもたちに知識を与えることが重要視されました。読み書き算盤と言われますが、読み書きを理解できれば、子どもたちに教えることが出来るため、とにかく教え込み負けない国を作っていこうと、子どもに何かを教え込むことが中心になったそうです。

その時に、そうはいつでも100人に教えるわけにはいかないため、40～50人で区切ろう。それを年度で区切り、教えようとなったと言われているそうです。

効率的に知識を教えることが明治の頃に行われ、今の学年別の基礎が出来上がったようです。国が求めている人材が教育として求められ、その国が何を大事にしているかが見えてくるといいます。ドイツでは、民主的な人間をつくるために、乳幼児期から民主的な保育が行われていると言われている。 国の求める人材を育てるために年度別が生まれ、教室の広さが7×9mというのは、教師が教壇に立って、話をして声が届く大きさと言われているそうです。

(報告者：奥山 卓矢)



〒161-0023

東京都新宿区西新宿 3-2-11 新宿三井ビルディング 2 号館 10 階

Tel:03-5909-7155

毎週月曜日に配信しています。

ミマモルジュメールマガジン発行：株式会社カグヤ 奥山卓矢

ミマモルジュメールマガジン



メールマガジンのご登録は、
QRコードからお願いします。